



## 港湾業務艇で清水港内の水深を測る訓練を実施しました!!

清水港湾事務所では、清水内港に港湾業務艇「まさき」を配備しており、港湾工事の監督や施設点検、災害時の緊急対応を行っています。

非常災害時には港湾内にガレキなどの漂流物が流れ込んだり、台風や大雨の際には川から土砂が流れ込んだりすることにより、船が通行するのに必要な水深かどうか、確認する必要があります。当事務所で保有する「マルチビーム測深機」と呼ばれる機材は、海底に向けて音波を発射し、反射した音波を捉えることで海底の地形を把握できます。

今般、非常災害等に備えた取組として、港湾業務艇「まさき」に「マルチビーム測深機」を搭載して、水深や航路幅などの海底地形を測定する訓練を行いました。当事務所における保有機材は、通常は船外で保管される組み立て式であることから、迅速に艀装(取付)や測深する技術を引き継いでいくため、ベテラン職員と若手職員が合同で訓練を実施し、技能の習熟を図りました。

今後も定期的にこのような訓練を実施し、職員の防災技術の向上を継続することで、当事務所の災害対応力を強化してまいります。

### 1. 実施概要

日時：令和6年10月31日(木) 10:00~11:40

うち艀装作業 10:00~10:50

測深作業 10:50~11:20

片付作業 11:20~11:40

場所：清水港日の出地区(-12m岸壁付近)

参加者：7名(清水港湾事務所 屋敷副所長他6名)

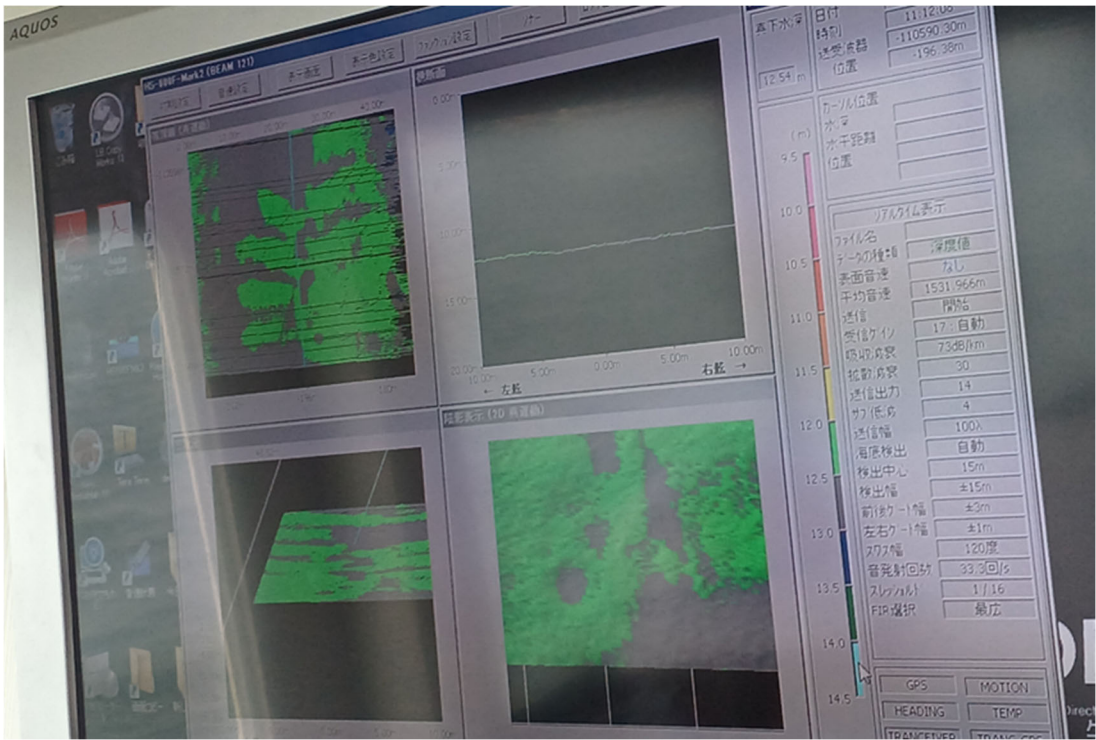
### 2. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

沿岸防災対策室 高石(たかいし)

TEL: 054-352-4149

E-mail: [pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp](mailto:pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp)



日の出地区(-12m 岸壁)周辺海域を訓練海域として実施  
 ⇒水深-12m~12.5mであることを確認(緑色が-12m~12.5m 灰色が-12.5m~13.0m)



確認しながら艀装を行いました  
 (50分程度時間が掛かりました)



若手職員に操作方法を説明している様子

